

令和5年度デジタル技術を活用したクルーズ客船乗客行動調査業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和5年9月20日 10時から12時まで
2	場 所	広島県庁自治会館 303 会議室
3	出席委員	土木建築局港湾振興課ポートセールス担当監 土木建築局空港港湾担当部長 土木建築局港湾漁港整備課長 土木建築局建設DX担当課長 商工労働局イノベーション推進チーム地域産業デジタル化推進担当課長 商工労働局観光課長（代理出席）
4	議 題	提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	土木建築局港湾振興課
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>提出された提案書をもとにプレゼンテーションによる審査を行い、最も得点が高い提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者（最優秀提案者：◎） A社：国際航業株式会社広島支店（◎） B社：パシフィックコンサルタンツ株式会社中国支社 C社：NTTビジネスソリューションズ株式会社</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗客行動調査において、GPSビッグデータを基本としながらも、取得しきれない情報を定性調査で補完することで正確性の向上を図る取組を提案しており、より乗客の行動履歴を反映した分析が期待できる。 ・収集するデータの多さに加え、関係者からのヒアリングを実施するなど複数手法を用いた精度の高い調査が期待できる。 ・加えて、乗客への負担を考慮した調査手法の導入等、A社の提案が最も高い効果が期待できる。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済効果測定について、B社はレシートの収集や読み取りを乗客に求めており、負担が大きく、当該調査によるデータ収集はリスクが大きいと思える。

		<ul style="list-style-type: none">・一方でB社は、他社と異なり個人の行動ログ（レシート）からの収集にチャレンジしようとしており、工夫は必要だが、一定程度集積できれば解像度の高いインサイトが期待できる。 <p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none">・乗客行動調査において、補完データのとり方がやや手薄であり、収集できるデータ数や正確性が他社に比べ劣ると感じた。・公衆 Wi-Fi のアクセスポイントを起点としたデータ収集となるので、人流解析としては、粒度の粗い動線・周遊分析となるきらいがあり、アンケート調査も新しい手法の提案がなく総合力において他社に劣る。
--	--	---